

交流から生まれる未来のリーダー

—みらいの地域マスター春季研修会が足寄町で開催—



キンボール



グループに分かれ力を合わせて取り組んだ講習会



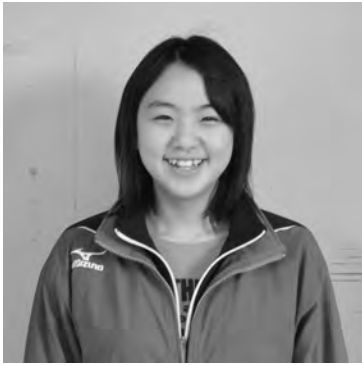
一人ひとり手作りのろうソクに火をともしキャンドルサービス



みんなで輪になり笑顔でフォークダンス

根室の将来を担う若きリーダー育成を目的に、毎年開催されている「リーダー研修会」。今年度からより一層のリーダー育成を目指し、市外の子どもたちとの交流を通して、根室を再認識する「みらいの地域マスター春季研修会」が4月14日・15日の2日間にわたって実施されました。

初めての実施となった今回の研修会は、足寄町の道立少年自然の家を会場に、市内小学生から中学生までの11人が参加し、本別町と足寄町から参加した同年代の子どもたち15人と、1泊2日の日程の中、講習会やスポーツレクリエーションを通じて交流を深めました。研修会をおえて子どもたちは、またひとつ大きくなり、次のステップへと進んでいきます。



光洋中学校 3年
なかじま
中島 みづき さん

1日目

「この研修会に参加し、2日間と短い時間でしたが、さまざまな発見や同年代の仲間との交流が、たくさんできました。これからは、根室のために私に何ができるかを考えながら、秋の研修では、みんなにもっと根室のことを伝えたいと思います。」

根室再興政策プロジェクトの新規事業の一つとして、自己研さんの機会と行動力ある次世代の育成を目的に、リーダー研修等に参加経験のある市内小学生から高校生を対象に実施されたこの研修会。出発式では、柴山教育長から「研修を通してふるさと根室を見つめ直してほしい。」と、子どもたちを激励し、参加者を代表して光洋中学校3年生の山田和希君から「たくさんさんのことを学び、本別や足寄にたくさん仲間をつくりたい。」と意気込みを伝え、子どもたちは、期待を胸にバス

に乗り込みました。

研修場所となる足寄町の道立少年自然の家に着いた子どもたちは、本別町と足寄町から研修に参加する子どもたち15人と合流し、研修会の1日目がスタート。

2日目

開会式では、一人ひとり手づくりの名札を作成し、緊張した面持ちで、自己紹介が行われました。この緊張をほぐそうとジャンケンゲームなどが行われ、笑顔を通してコミュニケーションが生まれていました。続いて十勝教育局の金澤誠一主査から、ボランティアに関する基本的な講習と、コミュニケーションの大切さなどについてのジュニアリーダー講習が行われました。夕食後は、リラククス効果があるキャンドルサービスの方法を実践し、一日の出来事を振り返りながら反省会が行われ、就寝となりました。

朝一番のラジオ体操から、2日目がスタート。すっかり打ち解けた仲間と仲良く朝食をとった後は、チームワークとリーダーシップを養うことを目的に、ユニースポーツ「キンボール」に挑戦。夢中



「市外の子どもたちとの交流は、減多にない機会。子どもたちは、研修を通して互いに友情を深めることができましたと思います。秋の研修会のテーマとしている、わがまちの紹介ができるよう、さらに根室について学んでほしいと思います。」

根室市教育委員会
もちぎさき ゆきひろ
餅崎 幸寛 社会教育主査

になってボールを追いかける子どもたちの顔には、笑顔が溢れていました。午後1時に研修会の全日程を終え、本別町、足寄町の仲間と「今度は秋に会おうね。」と、あいさつを交わし、足寄町を後にしました。帰途の車内では、「どの講習、レクリエーションも楽しかった。」「根室以外の仲間と交流をすることができてよかったです。」といった感想が聞かれました。みらいの地域マスター研修会は、秋にも開催が予定されています。これから根室で活躍するリーダーの誕生が、期待される第1回となりました。